

IBM App Connect Enterprise V11 アップデートセミナー

日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング
2018/12/14

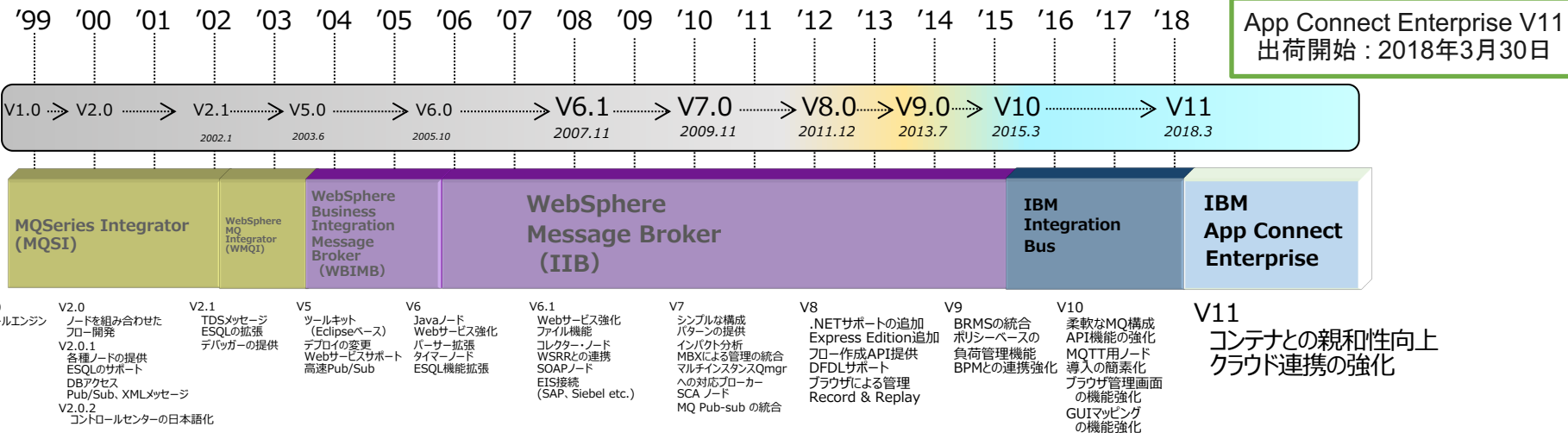


目次

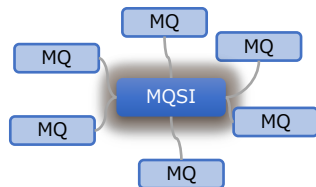
- App Connect Enterprise (ACE)の製品の歩み
- ACE V11の主要なテーマ
- 製品構成
- アーキテクチャーの変更
- その他の主要な変更点
- 新機能

App Connect Enterpriseの歩み

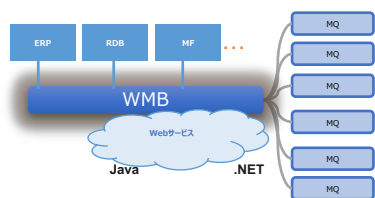
出荷開始から最低5年の通常サポート
通常サポート終了から最低3年の拡張サポート



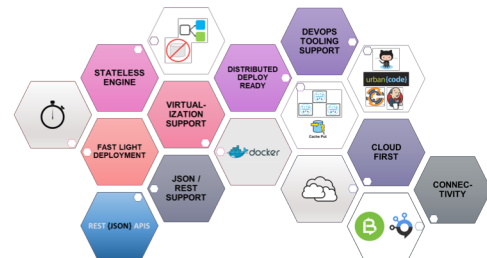
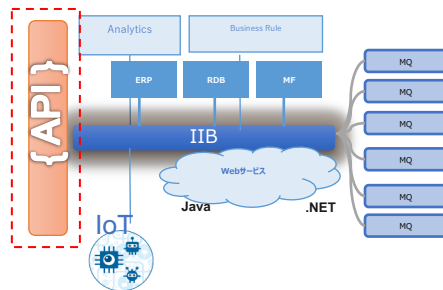
EAI/HUB



ESB

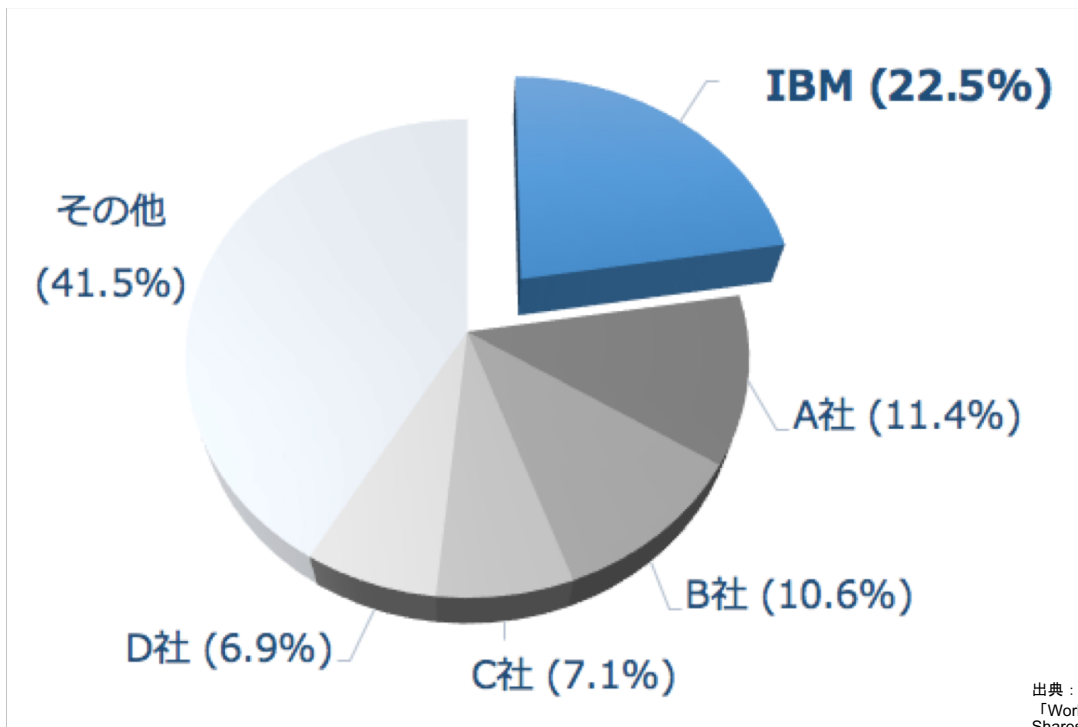


ESB



Integration製品の世界シェア

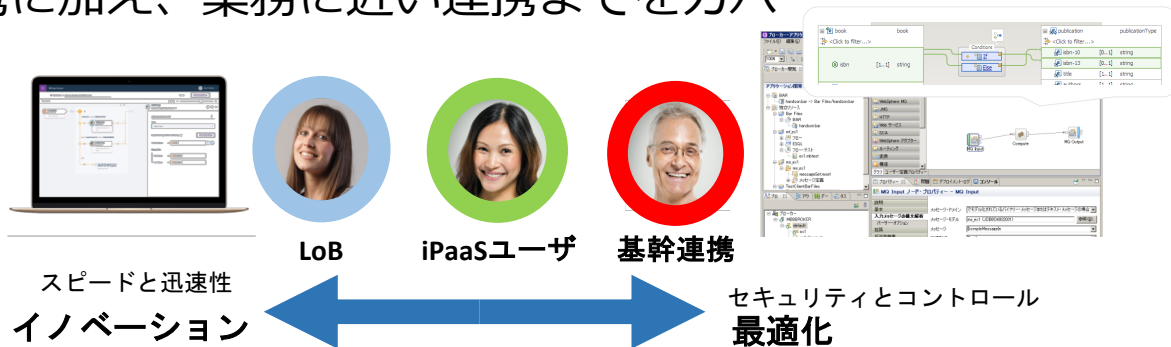
2017年 世界のIntegration市場シェア



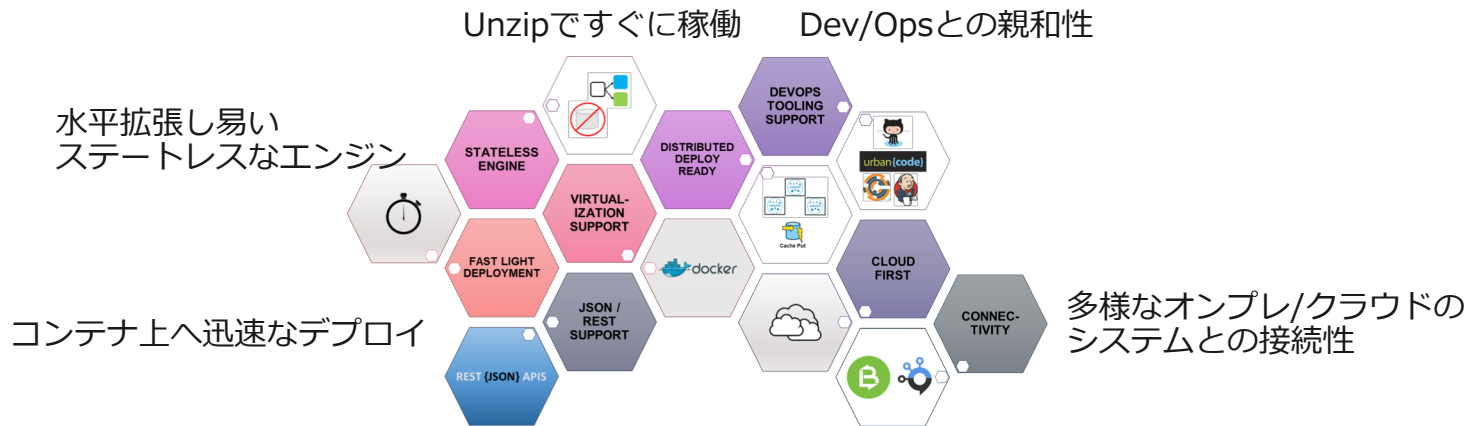
出典：IDC #US43938218
「Worldwide Integration Middleware and API Management Software Market
Shares, 2017: Business Is Booming Including License Revenue」 (2018年7月)

App Connect Enterprise V11の主要なテーマ

- 基幹連携に加え、業務に近い連携までをカバー



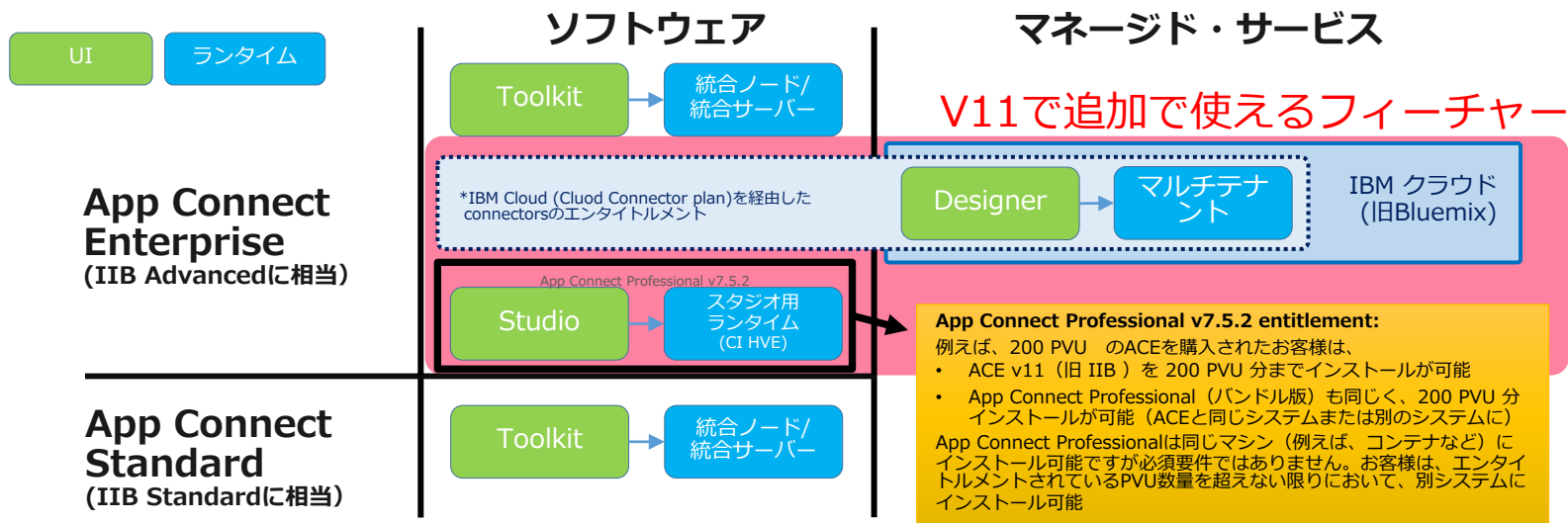
- クラウド・ネイティブなアプリケーション統合との親和性



App Connect Enterprise V11製品構成

■ App Connect Professionalを同梱

- ◆ App Connect Enterpriseには統合サーバーだけでなくApp Connect Professional (旧Cast Iron) の仮想アプライアンス版、およびマネージド・サービス版が付属
- ◆ クラウド・サービスとの連携機能を強化するとともに業務部門のユーザーや業務部門の開発者に対して統合機能を提供
- ◆ 従来のStandardに相当するApp Connect Standardは従来どおりの製品構成



SaaSやオンプレ・ERP製品との連携を迅速に実現する IBM App Connect Professional

IBM App Connect Professionalは、SaaSやオンプレ・ERP製品との自動連携を迅速に実現できる、ハイブリッド・クラウドを実現する連携ソリューション

コネクタの一例

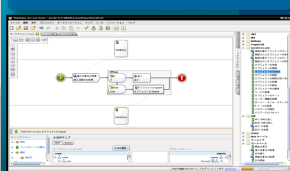
Salesforce.com	MS Office365	RightNow	workday	SugarCRM	HTTP	servicenow	Silverpop	Oracle CRM OD		
servicemax	MS Dynamics	box	QuickBooks	coupa	Zuora	Dropbox	MQ	JMS	Email	Database
SAP	Oracle EBS	PeopleSoft	JDE	LotusDomino	NetSuite	Siebel	Taleo	File	LDAP	

1

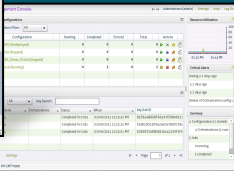
直感的なツール

シンプルで直感的な開発ツールと、すぐに運用開始できる分かりやすい運用管理ツールが利用できます

開発ツール



運用管理ツール



2

すぐに開発できる

無償で利用できる100以上の連携テンプレート (TIP) により、すぐに開発を始めることができます

テンプレート (TIP) ライブラリ (例)

SAP – Salesforce TIPs	Source	Target
SAP Order History (Mail-Ship)	SAP	HTTP
SAP Customer to SFD C Account Bulk API	SAP	Salesforce
SAP Contact to SFD C Account Bulk API	SAP	Salesforce
SAP Order Update to Chatter	SAP	Salesforce
Broker – Salesforce TIPs	Source	Target
Salesforce to WMB Account Sync	Salesforce	WMB (via MQ)
WMB to Salesforce Account Sync	WMB (via MQ)	Salesforce
Salesforce to WMB Contact Sync	Salesforce	WMB (via MQ)
WMB to Salesforce Contact Sync	WMB (via MQ)	Salesforce

3

柔軟な導入形態

SaaSのみでなく、オンプレ、IaaS上など、柔軟な導入形態を提供しています

SaaS版

仮想アプライアンス



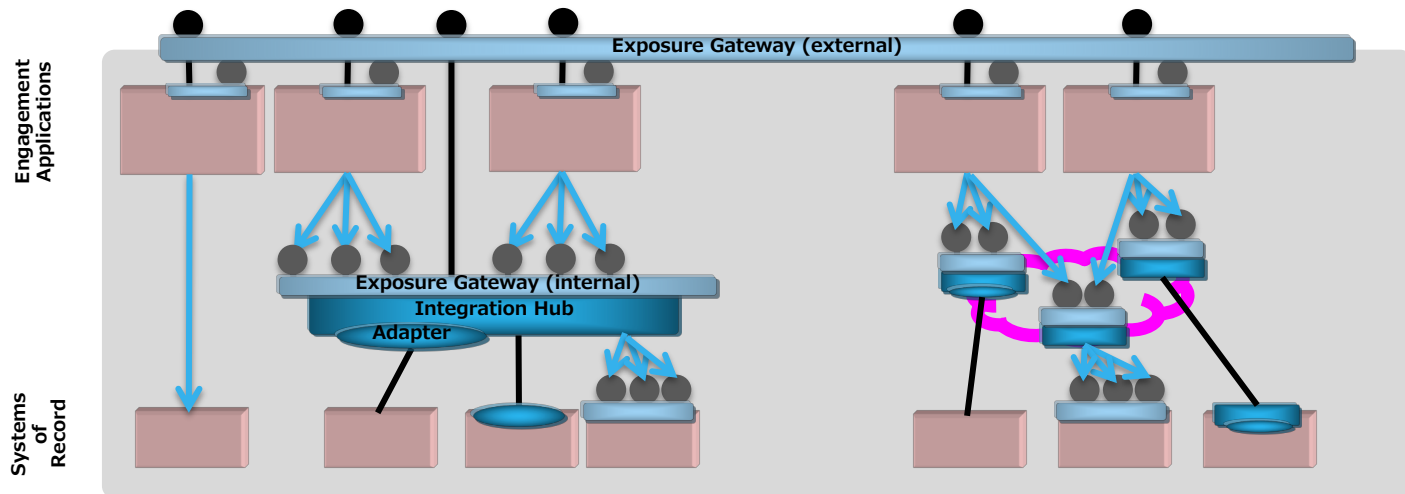
- マルチテナント
- 占有環境



- オンプレ
- IaaS

詳細 : <https://developer.ibm.com/integration/docs/app-connect/>

製品アーキテクチャー変更の背景



統合基盤チームは統合製品に習熟

単一基盤上で各種連携を開発・運用

CPU、メモリ等のサーバー資源は利用者間で共有

一般にウォーター・フォール型の開発が行われることに加え、統合チームは必ずしも業務アプリケーションに習熟しておらず、連携の開発に時間がかかる

バージョンアップやFixの適用には多くの時間と労力がリグレッション・テストにかかる

単一の基盤を共有するため依存関係が複雑化し、全ての連携先との前提条件をクリアするのが難しい

設計次第では障害発生時の影響範囲が全体に波及する場合もある

各統合ランタイムは小さなコードベースを持ち、他と完全に独立して動作。他のアプリケーションへの副作用を気にせずに変更が行える

コンテナ・オーケストレーションの機能を活用し、コンポーネント単位の柔軟なサーバー資源の増減が可能なため、サーバー集約率と拡張性が向上

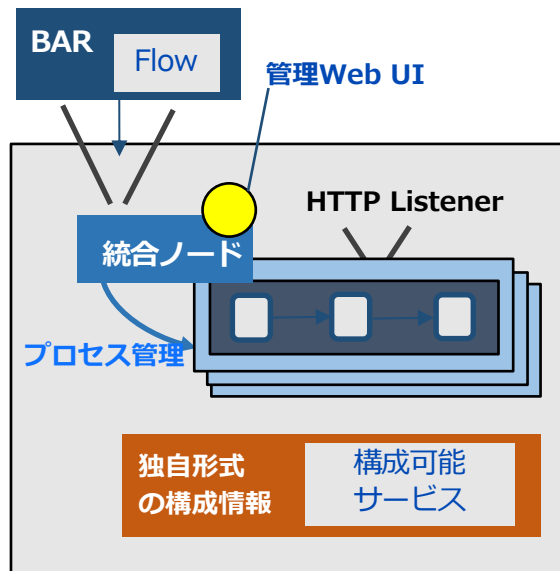
コンテナにより分離された環境であるためコンポーネント毎に適した形で回復性を設計できる（完全にステートレスな“cattle not pets”モデルやテークオーバー構成等）

クラウド・ネイティブなスキルが求められる一方で基盤運用の負荷は標準ツールの適用により低減される

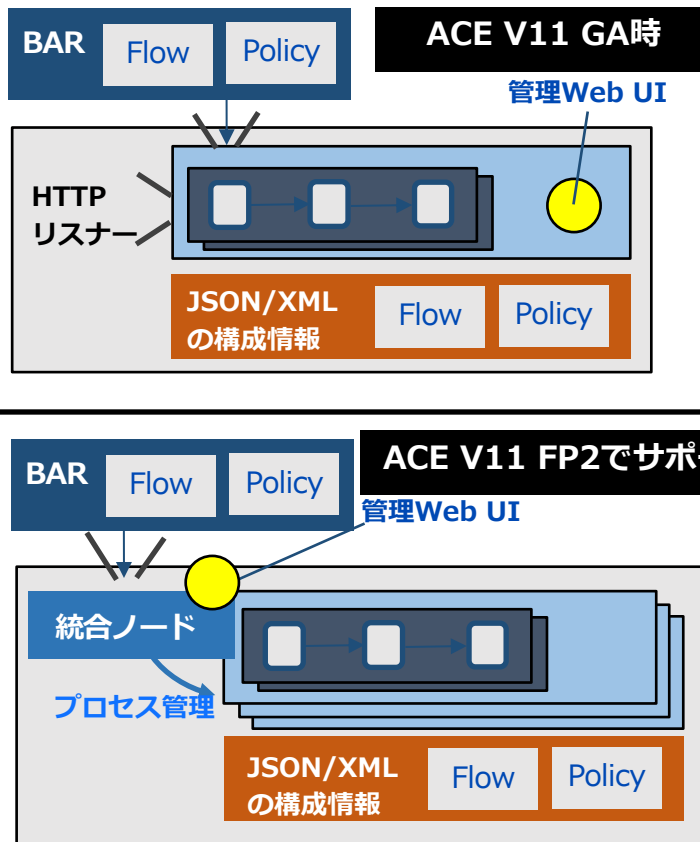
障害検知は管理対象となるランタイムが増えるためログの集中管理等、クラウド・ネイティブな方式が必要

製品アーキテクチャーの変更

IIB V10までのアーキテクチャー



UNZIP and GO !



• 独立統合サーバー

- ・単一プロセスで稼働する統合サーバー
 - ・管理UIやHTTPリスナー
- ## • ポリシー
- ・BARファイルに構成情報を開発物と一緒にデプロイ可能に
 - ・構成情報はJSON/XMLの標準形式
 - ・ファイルを直接編集可能

• 統合ノード構成

- ・統合ノードによる管理も可能に
- ・構成情報は標準形式

その他の主要な変更点

■ サポートOSプラットフォーム

- ◆ 2018年12月現在のサポート・プラットフォームはWindows, およびLinux x86-64版のみ
- ◆ AIX、z/Linux, Linux on Power, z/OS版は開発意向表明

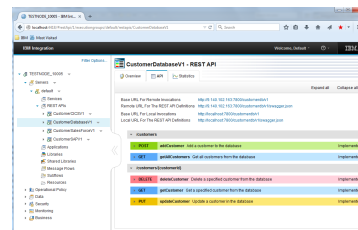
■ ライセンス体系の変更

- ◆ HA構成におけるIdle Standbyライセンスの廃止
 - ・ 待機系は課金対象外に
 - ・ 既存のIdle Standbyライセンスから通常ライセンスへのトレードアップ・ライセンスを提供
- ◆ ノン・プロダクション・ライセンスの導入
 - ・ 商用利用しないランタイムについて安価なライセンスを提供
 - ・ App Connect Enterprise(旧 IIB Advanced Edition)のみ提供。App Connect Standardには提供されない
- ◆ Salesforceノードが通常のライセンスで利用可能に
 - ・ IIB V10では最上位のApplication Integration Suiteを購入する必要があった
 - ・ V11ではStandard版でも利用可能

App Connect Enterprise V11の新機能

■ 四半期毎に提供のFixpackで多数の新機能が追加されV11へと反映

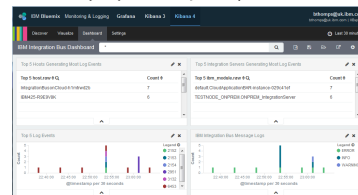
FixPack	出荷日	新機能
10.0.0.1	2015/6/1	サポート対象JDBCドライバーの追加
10.0.0.2	2015/9/25	CICSRequestノードのXA対応 API ManagementへのAPI Push機能 組込みのGlobal Cacheの機能強化(GUIマッピングからの操作が可能に)
10.0.0.3	2015/11/27	GUIマッピングからOracleのStored Procedureの呼び出しが可能に Business Transaction Monitoring機能の追加
10.0.0.4	2016/3/15	Linux on POWER Little Endianのサポート Web管理画面の認証へのLDAP認証の追加 アクティビティ・ログの機能がWebユーザーインターフェースから利用可能に REST APIをSwagger文書からだけでなく、スクラッチから開発しSwagger文書を作成可能に JSONスキーマで定義されたデータをマッピングから利用可能に リモートで稼働するフローを呼び出し可能にする「呼び出し可能なメッセージ・フロー」のサポート
10.0.0.5	2016/5/27	Salesforce.comとのアダプターを提供 (Application Integration Suiteでのみ利用可能) API ConnectへのAPI Push機能 (Web管理画面またはコマンドでも可能に) MQTTのSSLサポート
10.0.0.6	2016/8/26	外部APIの呼び出し機能を提供 JSONスキーマ・サポートの拡張 (REST APIプロジェクト以外でも利用可能に) LoopBack コネクタが利用可能に
10.0.0.7	2016/11/25	Apache Kafkaとの連携機能を提供 IBM Hybrid Connectサービスとの連携機能を提供
10.0.0.8	2017/04/17	IBM Bluemix上のLogmetとKibanaサービスとの連携機能を提供 サブ・フローのリモート呼び出しを非同期で行うためのノードを提供 Apache Kafka連携機能の強化 REST連携機能の強化 オンプレミスのIIB稼働状況をIBMのクラウドBluemixから可視化できる機能を提供
10.0.0.9		会計・統計情報のLogmet/Kibanaへの連携 ユーザーID、パスワードが必要なProxy経由でのHTTP要求のサポート
10.0.0.10	2017/09/08	IBM Cloud Private/ Dockerサポート 統計・会計情報をファイルに出力可能に
10.0.0.11	2017/11/30	IBM App Connect とのAPI連携機能 Java 8サポート
10.0.0.12	2018/03/29	N/A
10.0.0.13	2018/06/13	Node.jsのフレームワークが8.10.0に
10.0.0.14	2018/09/28	FileノードのFTPSのサポート JMSのShared Subscriptionサポート インメモリで処理されるメッセージ集約機能の追加



Salesforce Request



KIBANAダッシュボード



呼び出し可能なフロー

